水害対応チェックリスト

施工代理店・工務店の皆さま用／浸水直後から復旧工事まで、やることと順番

日本ボレイト株式会社
監修：信州大学 中谷岳史研究室

おもて

まず、乾かす。手当てはその後。

カビは浸水後**48時間**で急速に増えます。搬出・清掃・送風は時間との勝負です。
一方、木部への薬剤処理は**乾いてから**。順番を逆にすると効果が十分に得られません。

STEP 1　初動｜安全確認と記録　〜72時間

安全確保

- ☐ **漏電検査が終わるまで**浸水階と設備の通電を遮断（電気業者に依頼）
- ☐ ガス業者にガス漏れ確認を依頼
- ☐ 子ども・妊婦・持病のある方は災害現場の作業に加えない

記録（片付け前に必ず）

- ☐ 外観四面＋各部屋の中央から壁四面
- ☐ **水位がわかる写真**（罹災証明・保険金請求に直結）
- ☐ 床下の浸水状況・土台まわり・断熱材、損失物品

施主に最初に伝える3つ：「撮る前に片付けない」「罹災証明書を申請する」「建物と車の保険会社に連絡する」。遅れると費用負担が変わります。

STEP 2　搬出・清掃・床下排水　1週間以内

搬出

- ☐ 捨てる物は道路際、迷う物は敷地内
- ☐ 畳・カーペット・断熱材は廃棄が基本
- ☐ 階段下収納・洗面台下は扉を開ける

清掃

- ☐ 薄めた中性洗剤＋ブラシ・大型スポンジ
- ☐ ホースで泥を屋外へ押し流す
- ☐ クッションフロアは除去（乾燥を妨げる）

床下

- ☐ 床下の水は**泥水両用ポンプ**で排水
- ☐ **床は不用意に解体しない**
- ☐ 1か所の点検口を開け、ダクトファンで床下送風

良い例｜床を開けずに床下で循環
点検口を1か所だけ開け、ファンを人通口・基礎通気口へ向ける。床下内で空気が回り、生活空間への汚染空気の侵入を防げます。

悪い例｜床を広く解体して送風
床下の汚染空気が室内に長時間滞留します。別室の床を追加で開けても解決せず、解体費も膨らみます。

STEP 3　乾燥と建物診断　2〜6週間

乾燥管理

- ☐ 送風を継続し、ファンの向き・換気経路を調整
- ☐ 壁内部が濡れていれば、**アスベスト検査**（2006年9月以前の建物）を経てから部分解体し、清掃と乾燥
- ☐ 床下が乾いたら、床下空間を掃除機で清掃

診断・見積

- ☐ 診断は目視部位だけでなく**床下・壁内部**まで
- ☐ 見積は**2種類**：①応急処置（申請用）②復旧工事（計画用）
- ☐ 応急修理制度は自治体から施工者へ支払い。**施主は先払いしない**
- ☐ 保険鑑定人の調査に、写真と見積書を提出

乾燥の判断は、感覚だけでなく数値も参考に。含水率計で土台・大引・根太を測定し、**含水率25%**を乾燥の目安とします。
測定値は施主にも見せて共有します。

STEP 4　木部の手当て（ホウ酸処理・除菌）と復旧工事　乾燥後

- ☐ **含水率25%**を目安に、乾燥を確認してから木部処理に入る
- ☐ キットの水溶液（ホウ酸系保存剤＋専用除菌剤）で泥を落としながら**防腐・防蟻・防カビ＋除菌**
- ☐ 浸水した構造材は、処理済みでも**薬剤が残っていない前提**で処理
- ☐ 設備は基本交換。**エアコン最低1台**と給湯器を早期に確保
- ☐ インテリアドアは解体せず、乾燥後に建付け調整
- ☐ 復旧範囲を絞り、継続使用できる設備は残す

現場で必要な資機材一覧

安全装備
マスク（N95／DS2以上）／ゴーグル／滑り止め付き手袋／長袖・長ズボン／安全長靴（踏み抜き防止）／ヘルメット

計測・記録
木材含水率計／カメラ（スマホ可）／メジャー／懐中電灯・ヘッドライト／記録用の手帳・用紙

排水・乾燥
泥水両用ポンプ／ダクトファン（φ200程度）／屋外用延長ケーブル（10m）／過電流防止付きタップ／除湿機

ホウ酸処理
噴霧器（蓄圧式・電動式など）／バケツ（15L程度）・計量容器／かき混ぜ棒／お湯（40℃程度）／ティンボアPCO／専用除菌剤／養生シート

清掃
デッキブラシ／水切りモップ／大型スポンジ／ウエス・タオル／バケツ（複数）／ホース（約10m）／中性洗剤／掃除機（できればHEPAフィルタ付き）

その他
土嚢袋・ゴミ袋（45L）／ブルーシート／滑り止めの敷物・毛布

日本ボレイト株式会社　〒101-0031 東京都千代田区東神田2-6-2 タカラビル7階
TEL 03-6659-5785／nihon@borate.info／https://borate.jp

うら面 ▶ なぜ「乾かしたあとのホウ酸」なのか

監修：信州大学 工学部 建築学科 中谷岳史研究室

乾かしたあとに、なぜ「ホウ酸」なのか

浸水した木部は、腐朽菌・シロアリ・カビにとって最も条件のよい状態です。

水害対応チェックリスト

日本ボレイト株式会社／監修：信州大学 中谷岳史研究室

うら

浸水復旧でホウ酸が果たす役割

理由 1

水が引いても、木部は濡れたまま

土台・大引・根太・柱に水分が残り、腐朽菌が繁殖しやすく、シロアリの被害も受けやすくなります。内装を先に仕上げると、被害が進んでも気づけません。

理由 2

ホウ酸は揮発・分解しない

ホウ酸は無機物のため、揮発や分解で減ることがありません。**木材中に残存する限り、長期にわたり効果が期待できます**。

理由 3

防腐・防蟻・防カビと除菌を一度に

浸水した水には下水や汚泥が混じっている場合があり、床下に菌が残っている可能性があります。専用除菌剤との併用で、一度の処理で対応できます。

ただし、ホウ酸は水に溶けます。浸水した部位では、**ホウ酸が溶脱していると考えます**。殺虫剤系の防蟻剤も、時間の経過とともに効果がなくなっていきます。**処理済みの住宅でも、浸水した構造材は薬剤が残っていない前提で**、ホウ酸処理と除菌をあらためて行ってください。

処理に入るタイミングの判断

① 床下の清掃
床下が乾いてから、床下空間を掃除機で清掃

▶

② 含水率の測定
土台・大引・根太を測定。**25%**が乾燥の目安。数値を施主に提示

▶

③ ホウ酸処理・除菌
乾いた木部へ、キットの水溶液で泥を落としながら処理

▶

④ 内装復旧
処理面が乾いたことを確認してから、断熱材・床・壁を復旧

ホウ酸処理 施工チェックリスト

施工前

- ☐ 含水率（25%が目安）を測定・**記録**（写真＋数値）
- ☐ 木部の泥は、キットの水溶液で落としながら処理する
- ☐ 処理範囲を決定（浸水高さ＋余裕をみた範囲）
- ☐ 既処理住宅は、施工履歴・保証書の有無を確認
- ☐ 装備：マスク（N95／DS2以上）・ゴーグル・手袋

施工中・施工後

- ☐ 規定の濃度で調製（キットは10%溶液10L分）
- ☐ 調製した溶液は**1週間程度で使い切る**（屋外に置かない）
- ☐ 木口・継手・仕口・金物まわりを重点的に
- ☐ 施工前後の写真を撮影し、施主へ報告
- ☐ 復旧後の**定期点検の時期**を施主と決めて書面に残す

施主から必ず聞かれること｜そのまま使える説明

Q もう乾いたから、大丈夫では？
A 表面が乾いて見えても、土台や大引の内部に水分が残っていることがあります。含水率計で測り、数値でご確認いただきます。

Q 乾燥を待つと工期が延びませんか？
A 急いで仕上げると、後から腐朽やカビが出て再工事になることがあります。乾燥を徹底したほうが解体範囲が小さくなり、費用を抑えられる場合があります。

Q 以前ホウ酸処理をしたのに、また必要？
A 浸水した部位では、ホウ酸が溶脱していると考えます。浸水した構造材は、あらためて処理します。

水害対応キット 無償提供

申込期限：2026年11月30日（月）

内 容　ホウ酸系木材保存剤「ティンボアPCO」1袋（1,110g）＋ 専用除菌剤 1袋（0.5g×4包）

使い方　ティンボアPCOの水溶液10Lに専用除菌剤4包を溶かし、乾燥させた木部に処理します。液性はほぼ中性で、強い塩素臭はありません

提供量　1棟あたり1セット（10%処理溶液10L分）

対 象　令和8年8月以降の豪雨・台風等により床上浸水または床下浸水の被害を受け、罹災証明書が発行された住宅（地域は問いません）

※1棟につき1セットまで。不足する場合は被害の大きい箇所から優先して処理してください。※数量に限りがあるため、期限前に終了する場合があります。※キットは無償ですが、施工費用は別途です。

申込方法（申込用紙はありません）

1. お名前・ご住所（施工物件の所在地）・お電話番号・メールアドレス
2. 罹災証明書の写し（画像またはPDF）
3. 浸水の状況がわかる写真（床下・床上／複数枚）

送信先：nihon@borate.info
（件名：水害対応キット申込）

施工方法や留意点は、日本ボレイトおよび一般社団法人日本ホウ酸処理協会（JBTA）よりご案内します。

お問い合わせ｜日本ボレイト株式会社
〒101-0031 東京都千代田区東神田2-6-2 タカラビル7階　TEL 03-6659-5785／nihon@borate.info

効果の持続は施工部位・環境により異なります。
復旧後も定期点検を継続してください。